

令和4年度

業務説明書

役務名：国道5号（南1条西1丁目）ほか大口径管テレビカメラ等調査業務

令和4年5月単価適用

札幌市下水道河川局事業推進部

業 務 説 明 書

1, 業 務 委 託 理 由

2, 調 査 番 号

本業務の調査番号は、 6194 とする。

3, 業 務 箇 所

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) 南1条西1丁目 | (2) 北3条西1丁目 |
| (3) 北20条東1丁目 | (4) 北30条東1丁目 |
| ほか | |

4, 業 務 概 要

総延長 L=5, 646m

- | | | | |
|--------------|--------------------|-----------|-----------|
| (1) 管内調査工 | φ 1000mm～ φ 3500mm | L=5, 646m | (別表1のとおり) |
| (2) マンホール調査工 | | 65箇所 | |
| (3) 取付管調査工 | | 61箇所 | |

5, 履 行 期 間

契約締結日から令和5年1月12日までとする。

6, 仕 様 書

下水道管路保全業務仕様書【本管調査編】（下水道河川局庁舎1階閲覧室で公開）、
下水道管路維持管理業務仕様書、特記仕様書（下水道管路清掃に係る廃棄物収集運搬業務
特記仕様書を含む）による。

特記仕様書

1, 交通誘導警備員について

交通誘導警備員は、下記に示す人員を見込んでいる。現地の状況、その他関係機関との協議により配置人員の追加等が生じた場合は、業務監督員と別途協議すること。

調査箇所	標準作業帯	工種	配置人員	誘導員種別
公安委員会認定路線	夜間	調査工	3人以上	交通誘導警備員A・B
上記以外	夜間	調査工	3人以上	交通誘導警備員B

※ 交通誘導警備員Aとは、交通誘導警備業務1級または2級検定合格の資格をもつ警備員で、交通誘導警備員Bとはそれ以外のものをいう。

※ 交通誘導警備員Aが指定された場合、調査箇所ごとに交通誘導警備業務1級または2級検定合格警備員を1人以上配置し、事前に交通誘導警備員としての資格を確認できる資料を業務計画書提出時に提示すること。なお、公安委員会認定路線の交通誘導（交通誘導警備員A）の確認は北海道警察本部のホームページによる。

2, 履行開始日について

本業務の履行開始日は、令和4年7月7日と想定して、履行期間の設定及び積算を行っているが、履行開始日が想定した日と異なっても設計変更の対象とはしない。

3, 産業廃棄物等の処理運搬等について

受託者は、下水道管内に作業上支障となる産業廃棄物等を発見した場合は業務監督員へ報告し、その処理運搬等の措置について協議を行うこと。

4, 本管調査に係る留意事項について

- 1) 本業務の調査方法については、別表1に示すとおりとする。ただし、現場状況等により困難となった場合は、業務監督員と協議すること。
- 2) テレビカメラ調査は大口径管テレビカメラを用いて調査することとし、調査前の洗浄を省略する。管きょ洗浄を必要とする場合は、別途業務監督員と協議すること。
- 3) 潜行目視調査について、調査前の清掃を省略するが、管きょ内に土砂等の堆積があり清掃及び土砂処理の必要がある場合は、別途業務監督員と協議すること。
- 4) 潜行目視調査における記録写真の撮影は、おおむね10m当り3回（1回あたり直視1枚、側視2枚）を標準とする。

5) 突合せ継手と想定される箇所の本管調査方法について

突合せ継手（以下、「いんろう管」と言う。）と想定される箇所については、異常が確認された箇所及び3か所（最上流、最下流及び中間部）以上側視し、いんろう管であることが確認された場合は、その旨をテロップに表示するとともに、「TVカメラ調査記録表」内の備考欄に「いんろう管」と明記すること。

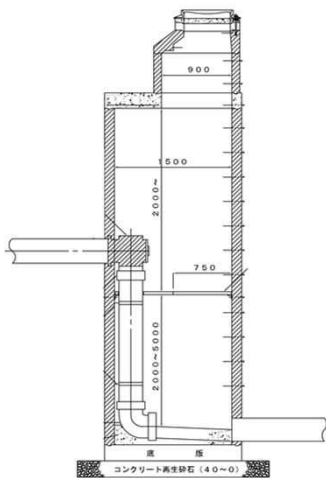
また、いんろう管の結果報告については以下のとおり、別表1に追記し提出すること。

- ・ 調査前：いんろう管の可能性が高いもの（○）⇒調査後：いんろう管であった（○）
- ・ 調査前：いんろう管の可能性が高いもの（○）⇒調査後：いんろう管ではない（-）
- ・ 調査前：いんろう管の可能性が低い（空欄）⇒調査後：いんろう管であった（●）
- ・ 調査前：いんろう管の可能性が低い（空欄）⇒調査後：いんろう管ではない（×）

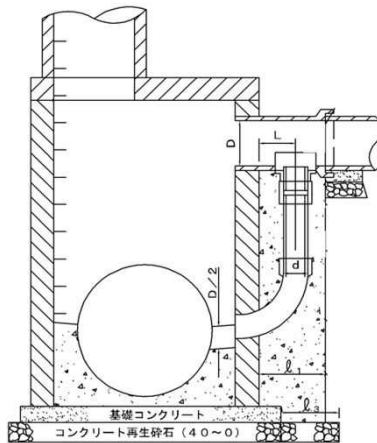
6) 副管があることが確認された路線については、その旨をテロップ表示するとともに、「TVカメラ調査記録表」内の備考欄に明記すること。（記入例：「外部副管あり」）

7) 現地調査時に管内調査に際してさや管（管内インバート工）等の疑義がある場合は、その旨業務監督員に報告し、指示を受けること。

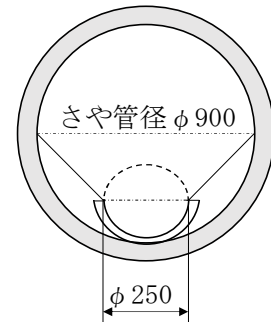
8) 前項に係る事項及びその他事項で疑義がある場合は、業務監督員と協議し決定すること。



(内部副管例)



(外部副管例)



(さや管 (管内インバート工) 例)

5, マンホール調査について

- 1) マンホール調査の実施は、【令和4年度】下水道管路維持管理業務仕様書の第4章計画的調査【人孔巡視調査】を参考に調査を実施し、成果を報告すること。
- 2) 接続する施設の状況を確認できる資料を提出するものとする。
- 3) マンホール調査は目視にて行うこととし、調査前にマンホール内を洗浄すること。
- 4) 現状では単価維持作業は想定していないが、維持管理上必要が生じた場合は、別途協議により決定する。
- 5) 取付管の接続がある場合は、別途報告すること。
- 6) 前項に係る事項及びその他事項で疑義がある場合は、業務監督員と協議し決定すること。

6, 取付管調査について

- 1) 取付管調査実施は、【令和4年度】下水道管路維持管理業務仕様書の第5章計画的調査【ます取付管調査】を参考に調査を実施し、成果を報告すること。
- 2) 「業務設計書（見積参考）」記載の調査に係る数量は予定数量であり、作業を確定するものではなく、本管調査、マンホール調査の結果に基づき、業務監督員が別途指示するものとする。
- 3) 前項に係る事項及びその他事項で疑義がある場合は、業務監督員と協議し決定すること。

7, 本業務積算時に使用する書籍等について

- ・下水道施設維持管理積算要領－管路施設編－2020年版 公益社団法人 日本下水道協会
 - ・下水道管路管理積算資料－2019－ 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
 - ・土木工事標準積算基準書(共通編)令和3年度版 国土交通省
 - ・令和2年度版建設機械等損料表 北海道補正版 一般社団法人 日本建設機械施工協会
- 下水道河川局庁舎1階閲覧室で公開しているもの
- ・大口径管テレビカメラ調査業務積算単価一覧表（経費計算説明書含む。）

竣功年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管径	延長	管種	いんろう管	調査方法
昭和42年	54年	北6条西1丁目	夜間	合流	1200	173.11	C		TV
昭和64年	32年	北5条西1丁目	夜間	合流	1200	4.42	C		TV
昭和64年	32年	北5条西1丁目	夜間	合流	1200	48.88	C		TV
昭和42年	54年	北7条西1丁目	夜間	合流	1200	62.33	C		TV
昭和42年	54年	北5条西1丁目	夜間	合流	1200	39.28	C		TV
昭和42年	54年	北5条西1丁目	夜間	合流	1200	45.00	C		TV
昭和42年	54年	北4条西1丁目	夜間	合流	1200	96.67	C		TV
昭和35年	61年	北3条西1丁目	夜間	合流	1000	122.70	C		TV
昭和42年	54年	北4条西1丁目	夜間	合流	1200	23.90	C		TV
昭和42年	54年	北5条西1丁目	夜間	合流	1200	6.40	C		TV
昭和42年	54年	北8条西1丁目	夜間	合流	1200	7.46	C		TV
昭和35年	61年	北4条西1丁目	夜間	合流	1000	4.00	C		TV
昭和35年	61年	北3条西1丁目	夜間	合流	1000	11.41	C		TV
昭和42年	54年	北5条西1丁目	夜間	合流	1200	4.01	C		TV
昭和42年	54年	北5条西1丁目	夜間	合流	1200	4.01	C		TV
昭和64年	32年	北6条西1丁目	夜間	合流	1200	4.42	C		TV
昭和55年	41年	北14条東1丁目	夜間	合流	3000	831.34	C		潜行
昭和55年	41年	北20条東1丁目	夜間	合流	3250	700.35	C		潜行
昭和55年	71年	北14条東1丁目	夜間	合流	3000	13.00	C		潜行
昭和55年	41年	北25条西2丁目	夜間	合流	3250	244.15	C		潜行
昭和55年	41年	北30条東1丁目	夜間	合流	3500	270.00	C		潜行
昭和55年	41年	北30条東1丁目	夜間	合流	3500	246.57	C		潜行
昭和55年	41年	北24条東1丁目	夜間	合流	3250	538.35	C		潜行
昭和55年	41年	北5条西1丁目	夜間	合流	2800	97.00	C		潜行
昭和55年	41年	北11条西1丁目	夜間	合流	2800	10.00	C		潜行
昭和58年	38年	大通西1丁目	夜間	合流	2000	168.56	C		TV
昭和55年	41年	北11条西1丁目	夜間	合流	2800	129.80	C		潜行
昭和58年	38年	大通西1丁目	夜間	合流	2000	322.12	C		TV
昭和58年	38年	北5条西1丁目	夜間	合流	2000	39.96	C		TV
昭和58年	38年	大通西1丁目	夜間	合流	2000	285.37	C		TV
昭和58年	38年	南1条西1丁目	夜間	合流	2000	113.31	C		TV
昭和55年	41年	北8条西1丁目	夜間	合流	2800	217.20	C		潜行
昭和55年	41年	北13条東1丁目	夜間	合流	2800	116.51	C		潜行
昭和55年	41年	北5条西1丁目	夜間	合流	2800	242.80	C		潜行
昭和55年	41年	北8条西1丁目	夜間	合流	2800	39.00	C		潜行
昭和55年	41年	北8条西1丁目	夜間	合流	2800	363.10	C		潜行

昼間：昼間作業とは、AM9時～PM5時の作業を標準とする。

夜間：夜間作業とは、PM9時～AM5時の作業を標準とする。

管種のCはコンクリート管、Vは塩ビ管。いんろう管に○がある管渠は、いんろう継手管の可能性が高い。

調査方法のTVはテレビカメラ調査、潜行は潜行目視調査。